

# インフラ整備70年 講演会(第65回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

## つくばエクスプレスと筑波研究学園都市

～まちと鉄道が歩んだ成長の軌跡～

### <講演内容>

つくばエクスプレス 構想～法整備～着工まで

筑波研究学園都市 構想～概成まで

つくばエクスプレスの建設

つくばエクスプレスと沿線地域の発展

鉄道と沿線開発の課題と展望

### <講演者>

高松 正伸 (一財)交通統計研究所 公益本部長  
元日本鉄道建設公団 工務部次長

西村 志郎 (株)URリンケージ エグゼクティブ・フェロー  
元(独)UR都市機構理事、つくば開発局

堀口 知巳 (独)鉄道・運輸機構 理事  
元日本鉄道建設公団 工務部常磐新線課

森地 茂 政策研究大学院大学 名誉教授



上:筑波研究学園都市空撮  
写真提供:UR都市機構  
下:つくばエクスプレス 研究学園駅  
写真提供:鉄道・運輸機構

2025年 12月16日 (火)

講演会:16:00～18:00 意見交換会:18:00～19:00

場 所:政策研究大学院大学想海樓ホール (会場・WEBのハイブリット形式)

定員: 会場 200名 WEB 1000名

主催:(一社)建設コンサルタンツ協会 後援:(公社)土木学会

つくばエクスプレスは、東京圏北東部地域の交通体系整備、既設鉄道の混雑緩和、首都圏の住宅供給促進、沿線地域の産業基盤形成という4つの基本目標のもと、鉄道とまちづくりを一体的に進めた代表的なプロジェクトである。筑波研究学園都市は、昭和38年に建設決定され、昭和55年に国の研究機関や大学の移転が完了し、日本最大の科学技術都市として概成した。その機能強化には東京都心等とのアクセス向上が不可欠であり、試験研究機関や企業本社との連携、国際的技術交流のため直結性が求められた。これらの課題に対応する交通アクセスとしてつくばエクスプレスの活用が考えられた。本講演では、筑波研究学園都市整備の背景や成長の経緯、つくばエクスプレス整備の背景や経緯、開業後の沿線の変化、自立型都市として概成していた筑波研究学園都市の変化及びまちと鉄道を一体的に計画・整備することの効果と今後の課題について報告する

(本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております)

# インフラ整備70年講演会(第65回)

## つくばエクスプレスと筑波研究学園都市 ～まちと鉄道が歩んだ成長の軌跡～

### 《講演》

高松 正伸	(一財)交通統計研究所 公益本部長 元日本鉄道建設公団 工務部次長
西村 志郎	(株)URリンケージ エグゼクティブ・フェロー 元(独)UR都市機構理事、つくば開発局
堀口 知巳	(独)鉄道・運輸機構 理事 元日本鉄道建設公団 工務部常磐新線課
森地 茂	政策研究大学院大学 名誉教授

### 講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)

- 会場 (講演会2000円・意見交換会2000円)、WEB (講演会無料) どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP (<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

### 【注意事項】

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備があるため、再度、申込手続きをお願いします。
- **申込時の個人情報**はインフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- **許可なく講演内容の録画・録音による転用等**はご遠慮頂きますようお願いいたします。

### <会場参加について>

- 申込完了者は、**12/9(火)までに**下記口座へ会費振込をお願いします。なお、領収書は講演会当日にお渡しさせていただきます (振込が期日より遅れますと後日郵送となります)。

**三井住友銀行 飯田橋支店(888) 普通口座 7379944**

**イッパ ソジャダ ソホジ ノケンセツコンサルタンツキョウカイコウシュウカイヨウグチ**

(複数名分の振込を行う場合、対象者名の一覧を下記の間合わせ先メールにご連絡をお願いします)

### <WEB配信について>

- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させていただきます。
- **受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)**

問合せ先 E-mail: [infra70@jcca.or.jp](mailto:infra70@jcca.or.jp)

### 「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとあって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

\*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第66回講演会 2026年1月27日(火) 政策研究大学院大学想海樓ホール(会場・WEBのハイブリット形式)

テーマ: 神戸港 ～ 阪神・淡路大震災を乗り越えて世界のハブ港湾へ～

講演者: 菊地身智雄 (一社)港湾荷役システム協会 会長/元国土交通省 技監・港湾局長

長谷川憲孝 神戸市 港湾局長

成瀬英治 NPO法人近畿みなとの達人 理事長/元国土交通省 近畿地方整備局 副局長